

意図しない情報の流出を 防ぎましょう

● 知らないうちにあなたのいる場所を公開していませんか

いろいろな利用者との日常的な会話から情報収集までできるSNSは便利で楽しいサービスですが、一方で、SNSに掲載されたこれらの情報を狙う犯罪者が増えていることにも注意が必要です。

SNSでは、アプリの位置情報利用をONに設定にしておくと、投稿に位置情報が付けられ、自分の所在地を不特定多数へ知られることにもなりかねません。頻繁に位置情報を公開していると住所や学校などの個人情報が特定されるおそれもありますので注意してください。

スマートフォンのプライバシー設定で位置情報サービスの設定を利用しないこともできますので、一度設定を見直しましょう。

2023年12月現在

	位置情報OFF設定
LINE	スマートフォンの設定でLINEの「位置情報利用」権限をOFFにする
Facebook	スマートフォンの設定でFacebookの「位置情報利用」権限をOFFにする
X (旧Twitter)	「設定」>「設定とプライバシー」>「プライバシーと安全」>「位置情報」>正確な位置情報をもとにカスタマイズをOFFにする
Instagram	スマートフォンの設定でInstagramの「位置情報利用」権限をOFFにする

※設定方法はOSや機種、アプリのバージョンにより異なります。



● 写真から自宅の場所がわかってしまうこともあります

スマートフォンで撮影した写真に、撮った場所が記録されているって知っていますか？

スマートフォンには、GPS機能がついているので、カメラアプリの設定が位置情報機能ONになっていると、撮影した写真に位置情報が記録されています。

ということは、位置情報機能をONにしたまま、自宅で写真を撮って、その写真をそのままインターネットへ公開してしまうと、自宅の場所が特定できてしまうことになってしまいますね。

トラブルを避けるためにも、カメラアプリの位置情報機能はOFFにしておきましょう。



STOP!!
ネットトラブル

● 位置情報機能をOFFにしても場所がわかってしまう？

写真に写り込む情報から、その場所がわかってしまうこともあります。電信柱などに書いてある住所が写真に写っているかもしれませんし、お子さんの入学式の写真だったらその学校がわかってしまうかもしれません。

SNSの中には、投稿するときに付近のお店などのスポット情報を「位置情報」として追加することもできるものもありますが、自宅や学校などで撮影した写真にその「位置情報」をつけてしまうと、おおよその場所がわかってしまいます。自宅周辺などからの投稿では「位置情報」を追加するのはやめましょう。



カメラの位置情報利用をOFFにしても、決して安心はできません。写真をインターネットへ公開する際は、事前によく確認するようにしましょう。